

(福) ケアハウス信愛館

◆近江八幡市内では、雛の節句にちなんだ行事が行われ、桃の花も咲き季節はもう春インフルエンザの流行に心配しましたが、入居者皆様が各自で体調管理をされ、お蔭様で感染者を出す事もなくホッと胸をなでおろしています。

◆二月十二日(火)平成三十年度資金収支補正予算、平成三十一年度事業計画並びに資金収支予算案が社会福祉法人近江兄弟社地塩会の理事会で報告・承認されました。続いて理事長の職務執行状況について報告があり承認されました。

◆二月二十三日(土)「ヴォーリズアカデミー」がハイド記念館で開催され、二名の入居者が受講されました。ヴォーリズ先生との縁は、一名がお父様が学生時代に授業で英語を習われた方と、もう一名が先生の理念に共感し信愛館に入居された方です。話を聞かれた中でも特に感動された点は、「自分ではなく常に世の人のために志を持って事を進めら

れたが、悩まれる時も多かったそうです。けれども迷うことなく愛と義との心の声に従われた生き様をこの講演で知ることができ、やはり神様に選ばれた人であったのだとあらためて感動を覚えました。また藤澤理事長の『職業に貴賤はないが、生き方に貴賤はある』との言葉にヴォーリズ学園の今後の発展を祈りました。」と感想を寄せられました。

◆二月二十五日(月)「金亀酒造見学ツアー」に豊郷町へ出かけました。天気にも恵まれ暖かく見学者は私達のグループだけでしたので、ゆっくり回ることができお喋りも弾んだ楽しい午後となりました。最初に「金亀」の名前の由来は彦根の井伊家とのかかわりからつけられたそうで歴史を感じました。江戸時代から続く由緒ある酒蔵に



は大小様々なタンクがありそこでの熟成にかける時間によって甘口辛口が決まり、また酒造りで一番大切なものは麴で、この麴が酒の味を左右し甘味の素でもあるそうです。使用している水は鈴鹿山系の伏流水、酒米は近江米、と仕込まれた酒は全て地元で取れる原料を使用との詳しい説明を聞いた後に試飲させていただき、好みの酒やお土産を購入してから帰路途中にある喫茶店に寄りティータイム。皆様笑顔で帰館されました。